

平成26年5月12日

会員各位

公益社団法人 日本人間ドック学会

週刊現代（5月24日号）に掲載された内容について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は事業運営に際しまして格別なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、週刊現代5月24日号に掲載された、スクープ人間ドック不都合な真実、人間ドック学会理事長がついに告白「高血圧なんて、本当は気にしなくていい」のタイトルそのものが、国民に薬を飲まないように奈良昌治理事長が告白し、あたかも推奨するかのような誤解を与えるものとなっております。

発言した内容は受診された1人1人の血圧の高くなる要因を見極めた上で判断すべきと言っており、何らかの要因で血圧が高くなることもある、つまり人の血圧は種々の条件で大きく変動するもので多少の上がり下がりで一喜一憂してはいけません、血圧が高いからと言って心配しすぎることもいけません、今は薬も進歩しており効果も安全性も格段に改良されていますので、血圧が高い人は専門医とよく相談してほしいと言ったことが真実です。

残念ながら掲載されたタイトル等はその一部分のみを抽出し歪曲化したものです。単なるインタビューに応じたもので、まして不都合な真実を告白などした覚えも全くなく、大変な驚きと共に週刊現代記者に厳しく抗議致しました。

会員の先生方にはこの度、記事内容にご迷惑をおかけしましたことに深くお詫びいたします。

今後ともより一層のご指導ご鞭撻をよろしく願いたします。

敬具